

↓ 「洛南タイムス」平成29年1月27日 より

# 洛南タイムス

2017年(平成29年) 1月27日(金曜日)

会部  
協支  
建支  
宅第  
第六

## プロから諸問題など学ぶ

### ハトマーク 研修会 山崎浩一弁護士が講演

公益社団法人・京都府宅地建物取引業協会第六支部(野川正克支部長・会員350社)が13日、JR京都駅前の新・都ホテルで「平成28年度第2回第六支部ハトマーク研修会」を開き、宇治市、城陽市、京田辺市など5市6町1村の広域から、会員150人が参加した。

研修会では、野川支部長が「本日は多数の会員の方々のご参加有難うございます。今日の研修会が実り多

いものとなりましますよ」と開会挨拶。研修は5部構成で、鴨川法律事務所(山崎浩一弁護士が1部)で「日頃の業務の中で身近で気になる法律相談」をテーマに、実例(協会への売買・賃貸相談案件より)を用意した資料

をもとに参加者に説明していった。休憩をはさみ、谷口元毅(公社)京都府宅地建物取引業協会副会長が協会本部からの報告を行った。2部は、京都府府民生活課防災消防企画課職員が「災害からの安全な京都づく

り条例について」をテーマに参加者に説明。2部の補足説明を、(公社)京都府宅地建物取引業協会事務局の岡本哲夫参与が、京都府マルチハザード情報提供システムの活用など

を補足した。4部は、不動産キヤリアパーソン講座の周知DVDを観賞。最後の5部は、野川支部長が「空き家問題対策について」をテーマに「空き家対策は12市町村全体の

問題。これからも行政との関わりを密にして取り組んでいきたい」と結んだ。

講演会終了後、田中利幸副支部長がこの研修が皆様の事業の指針になります事を――と、閉会の言葉を締めくくった。

野川支部長が「本日は多数の会員の方々のご参加有難うございます。今日の研修会が実り多



開会挨拶する野川正克支部長